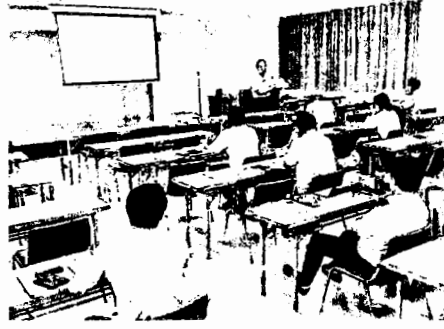


「準則」への理解深める

日測協 UAV 測量講習会



10人が受講。UAVの撮影データを用いた「作業規程の準則」の一連の工程について理解を深めた。

日本測量協会北海道支部（橋本幸支部長）は30日、北海道測量会館で公共測量技術講習会を開催した。写真Ⅱ。今回のテーマは「UAVを用いた空中写真測量」で、会員企業の技術者

を示しながら、それぞれの作業の要点を伝えた。協会認定講師を務める国際航業㈱の和久津龍太氏

は、UAVの基礎知識としてデジタルカメラの仕組みと地上解像度、カメラキャリブレーションについて説明。実例を交えながら計画から数値図化、3次元形状復元計算などの作業について解説した。

受講者は基礎知識などについて、簡単な問題に挑戦しながら内容を確認。最後に実務を想定した撮影計画立案の演習にも取り組み、作業規程の準則を踏まえた適正な運用に向けて、専門的知見を高めた。